

資料提供	
令和5年10月17日	
担当	境港管理組合 倉本・松田
電話	0859-42-3707

災害時における海上輸送応援等に関する協定締結式の開催（お知らせ）

大規模災害時における道路・鉄道など陸上輸送が途絶した際、RORO船（貨物を積んだトラックごと輸送する船舶）を活用した物資の海上輸送応援により、境港利用荷主のサプライチェーン維持を図るとともに、物流2024年問題を背景とした海上輸送モデルシフトを促進するため、下記出席四機関による協力協定を締結します。

については、下記のとおり協定締結式を開催しますので、お知らせいたします。

記

- 1 開催日時 令和5年10月25日（水）午後4時15分～4時40分
- 2 開催場所 夢みなとタワー1階 多目的ホールA（境港市竹内団地255-3）
- 3 出席者

近海郵船株式会社	代表取締役社長	関 光太郎（せき こうたろう）
日本通運株式会社	山陰支店長	林 義弘（はやし よしひろ）
NX境港海陸株式会社	代表取締役社長	角田 祐道（かどた ひろみち）
境港管理組合管理者	鳥取県知事	平井 伸治（ひらい しんじ）
- 4 次第
 - （1）開会
 - （2）出席者紹介
 - （3）協定署名、記念撮影
 - （4）出席者挨拶
 - （5）質疑応答
 - （6）閉会

【参考】協定内容（概要）

<p>（協定名）災害時における海上輸送応援等に関する協定</p> <p>（目的）①RORO船を活用した災害時応援を迅速に行う。 ・RORO船を活用した災害時海上輸送応援により、陸上輸送寸断時であっても、境港利用荷主のサプライチェーン維持を図る。 ②海上輸送へのモデルシフトに向けた環境整備を推進する。</p> <p>（規定する連携事項）</p> <p>①災害時応援 ・境港からの要請により、災害時の物資輸送、物流専門家の派遣等に協力すること ・近海郵船からの要請により、緊急時等における境港寄港に協力すること</p> <p>②RORO船利用に向けた事前態勢 ・輸送資機材の確保や連結検討、特殊車両通行許可手続等を事前に準備しておくこと ・災害時海上輸送訓練を定期的を実施すること</p> <p>③モデルシフト促進に向けた環境整備 ・圏域業者への啓発や知識ノウハウの習得など、境港を活用したモデルシフト促進に向けた取組みに協力すること</p>

※協定本文については、締結式会場にてお配りいたします。